



みかんぐみだより



1月

2020年1月6日

尚徳福祉会 おぐら保育園

みかんぐみ

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

12月、子どもたちに大流行したのが「めっきらもっきらどおんどん」の絵本でした。

たんぽぽ組が成長発表会で劇あそびをしたこのお話は、歌がついていて、夏ごろから少しずつ楽しんできました。今では内容を覚えて、歌いながら縄跳びを飛ぶ、モモンガーごっこ（ヒーローごっこのような遊び）になって走る姿があります。また「おかあさん」という歌があり、せつなそうな表情で歌詞の「おかあさん」を連呼する姿もとても愛らしい姿です。

さて、今年はどうな遊びが生まれるでしょうか？今からとても楽しみです。

初めてののり



保育園のおばけ



12月には初めてでんぷんのりを使って制作をしました。お絵かきした上に桜の葉っぱをのりで貼りました。初めて見たのりにおそろおそろ指を伸ばす子、手のひら全体でのりを触る子と様々でした。中にはのりの感触が楽しくてたくさん画用紙に塗った子など、よく見るとたくさんのにりを塗った跡が作品に残っています。

2回目は絵本「ツリーさん」をじっくりと楽しんでからクリスマスツリー制作をしました。2回目でもんなものかを知ったからこそ、「ヤダ」「やらない」ということもあります。「べたべたする」「もっと！」「まだやる」それぞれののりとの出会いでした。

桜の木を指さして「おばけいた」と駆け寄ってきたのはAちゃんとBちゃんです。Bちゃんは興奮気味に「いたの、あそこ」と話します。Aちゃんに「こわいよ～」と声をかけると「行こう！」と誘ってくれます。

また別の日、赤い布をかぶっていたC君。「おばけだぞ～」とやってきます。するとどンドンおばけが増えていき赤や黄色のおばけが、友達を脅かしに行きます。

連絡帳でもお家でおばけごっこをしたと書いてくれたご家庭がありました。布1枚で人形のだっこやおんぶ、スカートやおばけ、いろいろな遊びを楽しんでいます。



おともだち大好き

机に手作りの椅子を並べて、人形を並べてご飯を一人一人に用意しています。朝の時間にDちゃんEちゃんが遊んでいたその遊びを午後になってF君が同じように遊んでいました。F君は朝一緒に遊びたい様子でしたが、遠巻きに見ていたのです。丁寧に「どうぞ」とお人形に食事をさせていました。

運動会の入場曲「ふれふれ小旗」の曲がかかると手を繋いで歩き始めます。G君とHちゃんがつないで歩く姿をDちゃんが積み木をカメラに見立てて撮影していました。まるで保育者のようでした。

朝や日中に様々な理由で泣いてしまうお友だちもいます。最近ではそんな時に頭をなでに来ることに加えて、友だちの好きなおもちゃを持ってきてあげています。同じおもちゃを使いたいなど、時には取り合いは発展して叩き合いになりこともあります。そんな子どもたちですが、自分が遊んでいても、友だちを慰めようとおもちゃを持って来る姿は何人もの子どもたちで見られます。悲しい時に、一人一人の好きな事を知っていて慰めに来る小さな子どもたちに驚かされます。

